

「第9回北東アジアOSS推進フォーラム」を開催

IPA(独立行政法人情報処理推進機構、理事長:藤江 一正)および日本 OSS 推進フォーラム(代表幹事:富士通株式会社 執行役員副社長 佐相 秀幸)は、オープンソースソフトウェアの活用を促進するため、2010年11月3日(水)~4日(木)の2日間にわたり韓国ソウル市において開催された「第9回北東アジア OSS 推進フォーラム」に、共催団体として参加しました。日本・中国・韓国の産業界、研究機関、大学、政府関係者等より約200名の参加がありました。次回フォーラムは、2011年に中国で開催することが合意されました。

北東アジアOSS推進フォーラムは、2004年以来、日本OSS推進フォーラム、中国OSS推進連盟及び韓国OSS推進フォーラムが協調し、各国におけるOSSの普及・発展に向けた活動を行っています。今回は、昨年東京(日本)で開催された会合に続く第9回会合であり、各国の産・官関係者からの講演、ワーキンググループ(WG)¹の活動報告、各国で選ばれたOSS貢献者の共同表彰等が行われました。



今回の会合では、日中韓のフォーラム参加者が各WGから報告された成果と今後の計画に関する議論結果に基づき、次の点を確認しました。

- ・ これまでの、日中韓の協調によるOSSの普及促進に向けた取り組みは、多くの実りある成果を達成してきている。
- ・ 情報社会におけるOSSの役割はますます拡大しており、北東アジアOSS推進フォーラムの従来の活動を強化すると共に、先進領域に対する取り組みを推進すべきである。
- ・ 第10回北東アジアOSS推進フォーラムは、2011年に中国で開催する。

3つのWGからの報告された主な活動成果と今後の計画は、以下のとおりです。

¹ 北東アジアOSS推進フォーラムには、①「WG1:技術開発・評価」②「WG2:人材育成」、③「WG3:標準化・認証研究」の3つのワーキンググループ(WG)が設置され、各WGにおいて専門的な議論が行われている。

I. WG1:技術開発・評価

- Linuxサーバ向けのリソース管理ツール群であるOpenDRIM2010²を2010年11月にリリースすることとなった。
- OpenDRIMの一部成果をUbuntu³に提供し、2010年10月にUbuntuの公式パッケージとして採用された。
- Linuxカーネル⁴のバージョン間での互換性をテストするツールCrackerjack⁵の最新版 v3.2 を2010年9月にリリースした。このリリースにより、最新のカーネルにおける317のシステムコール⁶の全てがサポートされた。Red Hatは、Crackerjackテストツールを使用したRHEL⁷6との互換性テスト結果を公開することに合意した。
- 日中韓(CJK)のクラウド技術に関連した情報交換をするため、クラウドタスクフォースを4回開催した。

II. WG2:人材育成

- 2009年12月に"Northeast Asia (NEA) HRD Model Curriculum Draft2.0(北東アジア人材育成モデルカリキュラム第2版)"を公開した。現在同カリキュラムの改善を継続しており、2011年には第3版を公開する予定である。
- モデルカリキュラムを推進し、改良するため、NEA OSS Wiki を立ち上げた。
- ソウルで開催された第9回北東アジア OSS 推進フォーラムで OSS トレーニングキャンプを開催した。
- 人材資源の効果的活用を通して、CJK 人材育成調査を続けることに合意した。
- 第9回北東アジア OSS 推進フォーラムで第5回 CJK OSS Awardと第3回 CJK OSS Special Award を実施した。

III. WG3:標準化・認証研究

- 「次期プロジェクト検討タスクフォース」において、OSS 成熟度評価分野で協調して作業することに合意した。この作業を効果的に実施するため、「OSS 成熟度評価タスクフォース」を設置した。
- 「OSS 成熟度評価タスクフォース」は、ポピュラーな約100のOSSの評価を行なった。今後も継続してより多くのOSSの評価を実施し、評価情報をアップデートする。
- 評価の情報公開と管理のためのWebサイト(http://www.neaossforum.org/nea_wgs3_2)を立ち上げた。

■ 本件に関するお問い合わせ先

IPA オープンソフトウェア・センター 梅沢／前田

Tel: 03-5978-7507 Fax: 03-5978-7517 E-mail: ossc-info@ipa.go.jp

■ 報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部 広報グループ 横山／大海

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

² OpenDRIM(Distributed Resources Information Management) 2010 : Linux サーバ向けのリソース管理ツール群。ディスクやCPUの利用状況等を監視する。

³ Ubuntu:Linux ディストリビューションの1つ。インストールのしやすさや、ユーザインタフェースの使いやすさで知られ、利用者が急速に増加している。

⁴ Linux カーネル:OS(オペレーションシステム)の中核を為す部分であり、CPU やメモリをはじめとするハードウェアを制御し、アプリケーションプログラムの実行やメモリ管理などを担当する。カーネルに、シェルなどのインターフェースやファイル操作用のプログラムなどを用意することで、OS として利用可能になる。

⁵ Crackerjack:Linux カーネルバージョン間の互換性に関する情報を提供するシステム。オープンソース情報データベース「OSSiPedia」から提供している。

⁶ システムコール:カーネルの機能を呼び出すために使用される関数。

⁷ RHEL(Red Hat Enterprise Linux):Red Hat 社で開発・販売されている製品版 Linux ディストリビューション。